

縄南中通信



「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

平成26年 6月 2日 発行

2014年度 第3号

東大阪市立縄手南中学校

校長 日比野功

教育活動の重点キーワード

「縄南道」の形成、「心・技・体」の研鑽

「掃除に学ぶ会」より学んだ「空気」を「縄南道」の糧に！

5月25日（日）、大阪掃除に学ぶ会の月例会が縄手南中学校で開催されました。大阪掃除に学ぶ会は、阪神淡路大震災後、被災者の方々の支援も兼ねて、避難場所のトイレ掃除をされることからスタートされたそうです。当時、震災が発生した約2ヶ月後も避難所は断水が続き、水の大切さも痛感されたそうです。そのようなこともあり、大阪掃除に学ぶ会の方々は、掃除だけでなく、水はもとより道具を大切にされる事、水道の蛇口や備品に至るまで、全てのものを大切にすることを心掛けておられます。阪神淡路大震災から2年後の平成9年5月に、柏原市立玉手中学校で開催された大阪掃除の学ぶ会で、初めて生徒のみなさんが参加されたそうです。平成10年5月には八尾市立志紀中学校で、平成11年5月には東大阪市立盾津中学校での開催があったそうです。今回は平成26年度5月の月例会として、縄手南中学校を会場としての開催となりました。「日本を美しくする会」の鍵山秀三郎相談役という方がおられ、「ひとつ拾えばひとつだけきれいになる」という言葉や、「掃除で心を磨く」といったことを伝えられています。「縄南道」では「掃除をもくもくとすることができると」いうことを、日本一への目標の1つとしています。普段、「縄南道」で伝えている内容にも通じるところがたくさんあります。当日は、スタッフの方々、PTA保護者の方々、地域の方々、一般参加の方々、そしてクラブを中心に3年生、2年生の生徒と先生の参加がありました。約2時間、自分の担当する場所の掃除を他の人と比べることなく、また、掃除に必要なこと以外は喋ることもなくもくもくと掃除が進みました。この「大阪掃除に学ぶ会」に参加させて頂いて感じたことや学んだことは多くありますが、その中でも掃除によって「空気」が変わったことに気づいた生徒もたくさんいたことでしょう。「空気」というものは目には見えないものですが、確かにその場の様子や心の在り方を感じることができるものです。「環境は人を育てる」、「人が環境を創り出す」といわれますが、その「環境」とは「環境」を創り出そうとする人の心の在り方が大きく起因します。汚く放置されているよりも綺麗に手を加えられている方が気持ちよく、モチベーションも高まるのは当たり前です。しかし、綺麗なピカピカに整備された場所を借りて活動しているにもかかわらず、返却する時には適当な片付けしかできていないで、そのままにしてしまうことは往々にしてあります。おそらく誰かがまた後始末をしてくれると勘違いしているのでしょう。逆に普段の掃除では、なかなか掃除しきれいなようなこびりついた汚れを落とすために、自ら手を加え綺麗に、そして気持ち良い状態に再生させることは簡単ではありません。今回、参加してくれた生徒諸君が、それをやろうとしてくれたことは本当に素晴らしいことで、心の中に成長



スタッフの方々による掃除に学ぶ会
参加メンバーの確認、ルール説明等

があり、きっと何かの勝因を持ち合わせているはず。今回の掃除に学ぶ会に参加し、このような「空気」を経験でき、実際に掃除をやってくれた生徒の思いは、きっと「縄南道」の「空気」を進化させてくれるのではと感じました。3年生の諸君は覚えているでしょうが、一昨年、ロンドンオリンピックアーチェリー個人銀メダリストの古川選手と団体銅メダリストの川中選手が来校され、当時の全校生徒の前で実際に試技をして下さいました。その際、誰も何の指示もしていないにも関わらず、体育館にいる全校生徒がまさしく「息を飲む」という

「空気」を創り出しました。高いレベルに挑戦しておられる方の持つ「空気」を実際に体験できた時間でした。「縄南道」では多くの方々が来校され、全校集会でいろいろなことを伝えて下さっています。先日の06BULLSの村上隆行監督もグラウンドに対して「練習させていただく場所」という表現を使われていて、グラウンドに対する思いを大切に、「礼」を重んじて心の在り方を重要視されていることを教えていただきました。そこには必ずその意志が込められた「空気」



もくもくと集中していました。

の存在があるはず。今回参加した生徒諸君には、ぜひこの経験で感じたことを同輩や後輩に伝えて欲しいと思っています。10月5日(日)には、関西ブロックの活動として、「大阪掃除に学ぶ会」を縄手南校区で開催されることも決まっています。また、今回の活動の最初に参加者全員でラジオ体操をしましたが、このラジオ体操を縄手南中学校の生徒が担当させていただきました。生徒諸君にとって日頃の授業で当たり前に行っていることですが、参加者の方々から絶賛の声を頂きました。このような評価をこれからの自信にも繋げて欲しいと思っています。

「ルール」「マナー」「道徳心」を大切にしたい取り組みを！ ～校区、幼小中学校園で～

毎年、年度当初には幼稚園、小学校、中学校が連携し、校区が一体となった教育活動についての方針や目標を確認しています。今年度も昨年度に引き続き縄手南校区学校園では、「ルール」や「マナー」、「道徳心」を大切にしたい取り組みに重点を置くことを教育活動の柱として展開することを確認しました。平成19年に全国学力学習状況調査が実施されてから、さまざまな学力向上の取り組みが取り上げられ、いろいろな分析もされてきましたが、最近ではやはり、教育活動に大切なことは「学習規律」や「生活規律」であり、学校・家庭・地域のそれぞれの役割りを再確認する必要性が報告されています。縄手南校区学校園では、今も昔も変わらない不変のことである「ルール」「マナー」「道徳心」を意識した教育活動を展開することが大切であると考えています。自らが歯をくいしばって頑張ることや、自分たちの周りの方々の応援や見守りに感謝することなどは基本であり、社会に通用する人として自己研鑽し、大きく成長して欲しいと願っています。ぜひ「縄南地域ブランド」として保護者、地域の皆様のサポートをいただき、「社会で通用する当たり前」を意識した日本一の縄南校区を築きあげたいと考えていますので、今後も学校園の教育活動にご協力よろしくお願いたします。

クラブ等の主な記録

剣道 中河内地区春季大会

男子団体準優勝(中原清也 稲吉慶人 舟越和輝 森本悠暉 井上啓太)(全3年)

女子団体優勝(中山恵美子 鬼海苑佳 水島英恵 岩田絵里花 西山葵)(全3年)

男子個人 ベスト8 井上啓太(3年)、

女子個人優勝 満尾菜々美(3年)、ベスト8(水島英恵 中山恵美子)(3年)

大阪府剣道強化選手 井上啓太(3年)、水島英恵(3年)

バドミントン 第65回中河内春季大会 男子団体之部 準優勝

書道 第29回全国学生書き初め展覧会 硬筆の部 日本書き初め大賞 富田真未(現3年)